

地心花

令和5年6月16日 NO.7

初めての定期考査を終えて

2年生として初めての定期考査が終了しました。今の自分の力を存分に発揮できたでしょうか。各教科の先生から、今回の定期考査を踏まえてコメントをいただきました。約1ヶ月後の7月中旬には模試(ベネッセ総合学力テスト)があります。定期考査の結果や先生からのコメントを受け、是非今後の学習に役立ててください。

各教科からのコメント

教科	コメント・アドバイス
現代の国語	漢字や現代文のキーワードに関する知識が少し身についてきているようです。また、一度学習した内容について、理解できている人が多いようです。ただ、授業で学んだ対比構文で書かれた初見の文章については、読解できていない設問もありました。今後は、「 <u>グランステップ</u> 」やその他の <u>文章問題を2～3日に一題は解き、初見問題を速く正確に読み取る力を身につけましょう。</u> また、「 <u>グランステップ</u> 」の要約は、そろそろ下段のヒントを見ずに、本文だけを読んで要旨をまとめられるように心がけましょう。
古典探究	助動詞の活用表の正答率が非常に低く、助動詞の理解ができていないと思われます。 <u>助動詞は、人物の心情や状況の変化を読み取るのに重要な言葉です。</u> 「私はあなたを大切に <u>思っています。</u> 」という言葉と、「私はあなたを大切に <u>思っていました。</u> 」という言葉とでは、どのような印象の違いを受けますか。話の設定にもよりますが、語尾が変わるだけで、その言葉がうれしかったりさみしかったりするでしょう。昔の人たちも同じです。もう一度、文法を一つ一つ復習して、昔の人たちの波乱万丈なドラマを読み味わい、古典を学ぶことの楽しさを感じてもらいたいです。
地理探究	大問1・5については、時事問題・地図帳・写真からの出題でした。いかに興味をもって授業に取り組んでいるかを見る問題でした。大問2、3は問題集・資料集を通して、学習した内容がどの程度理解しているかを見る問題でした。最後に大問4は教科書の考察を出題し、その背景や要因を文章にまとめる問題でした。以上のように、日常の授業での取り組んだ学習内容で、対策としては、毎時間、国や地名・語句がでてきたら、すぐに地図帳や教科書・資料集の索引を見て、その場所、内容をわからないままにせずに自ら調べることが重要です。

公共	「理想の学び」とは、「おもしろいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そして、ゆかいなことは、あくまでゆかいに」(井上ひさし)。「公共」の授業で具現化したい学びの姿です。今回、「文章表現する問題」を多数出題しましたが、いずれも「授業の中で」取り組んできた「学習課題」ばかりです。平均点は6～7割で、おおむね満足できる達成状況です。次のステージは、具体的な「現実社会の諸課題」について、主体的に考察・構想し、表現する「学習課題」に取り組んでいきます。チャットGPTなどもありますが、AIを凌駕する、皆さんの豊かな創造性に期待しています。
数学Ⅱ	問題の量が多かったという感想を聞いたが、計算速度を上げないと共通テストには対応できない。問題のレベルは高くないが、基本的な計算ミスも多くあり、全体の平均点は45.4点であった。文系と理系との平均点は10点以上の差がある。 解の公式、判別式、解と係数の関係などこれからの数学でも必要になってくるので、正確に使えるようにしてほしい。記述問題は、ただ答えを出せばいいのではなく、答えを出す手順を説明できるように普段から気を付けて、答案を書く必要がある。
数学B	知識・技能の観点の問題は確実にできてほしい。 数学Bは数学Ⅱのテストと比べると、高校生にとっては難しくなるようだ(これまで教えてきた先生の経験から)。だからこそ基礎・基本の問題(知識・技能)は確実に得点してほしい。 各回のテストの点数が低いと、年度末に「1」がつく可能性が高まるので、基準点に達していない者は「再試験」を実施する。この試験は合格に達するまでエンドレスに続く。再試験の日は追って連絡するので、しっかりと勉強してほしい。
物理基礎	「物理」につながる大切な基礎・基本です。もう少し真剣に取り組んでみましょう。数や値の扱い方、グラフの読み方など、科学的な思考ができるようになるためにはある程度「慣れ」が必要です。決して暗記科目ではありませんが、繰り返しは必要ですよ。中学校の貯金で何とかできるのは今回までです。次回からは高校生の頭脳が必要です。がんばりまっしょーい!
化学	1年生の化学基礎に比べて、範囲の問題集の問題量がとても多かったと思います。2～3周するつもりだったのに、1周終わらせるだけで精一杯だった人も多いのではないのでしょうか?今後も難易度が下がることはないと思います。授業でまずはしっかり理解し、記憶に新しいうちに家で復習して定着させることを心掛けましょう。考査前は1から勉強するのではなく「思い出し、整理し、練習する」という流れにすると、当日は余裕をもって試験にのぞめるはずですよ!